



神戸女子大学附属高倉台幼稚園



神戸女子大学附属高倉台幼稚園は昭和48（1973）年4月に創立された神戸女子大学附属の幼稚園です。「やさしい心をもち、主体的に行動する子ども」を育てることを教育目標に掲げ、自主・自立・協同・感謝の精神を養い、豊かな情操の素地を培い、思考力・想像力の芽生えを助け、人間形成の基礎を築くことを目的としています。

附属幼稚園として、文学部 教育学科、家政学部 管理栄養士養成課程、看護学部 看護学科、神戸女子短期大学の食物栄養学科の学生の実習や大学の教員の幼児教育研究に協力しています。そして、地域の皆様や保護者の子育ての教育相談も行ない、子育ての支援の拠点としての役割も果たしています。

入園式

平成29年4月8日（土）高倉台幼稚園は第45回入園式を執り行ないました。年少組に37名、年中組に8名、年長組に1名の合計46名が入園しました。

新しく園児となった子どもたちは、式の出席者の多さに少しびっくりしながらも元気よく教員に誘導されて会場に入りました。

「みなさんがくるのをお兄さん、お姉さんたちと一緒に待っていましたよ」という小林 美佐子園長の挨拶に子どもたちの目が輝いていました。担任の教員の紹介の後、文学部 教育学科（幼児教育コース）の学生による歓迎の人形劇が行なわれ、ウサギやカメのパペット、蝶々のペープサートなどを使い、「みんなであそびましょう」と語りかけ園児を楽しませました。



教育実習と「にこにこクラブ」が始まる 学生がパネルシアターで歓迎

高倉台幼稚園では、2歳から3歳の未就園児を対象にした子育て支援「にこにこクラブ」も運営しています。子育て中の保護者同士の交流を深め、子育てをサポートしていくことを目標にしています。

4月18日（火）は、平成29年度第1回の「にこにこクラブ」が開かれ、38名の子どもたちが入会する「はじめの会」が開催されました。

この時期は、教育学科の幼稚園教諭や保育士を目指す学生

80名の教育実習も始まります。学生は、半分に分かれ隔週で年間を通して教育実習を行ないます。当日は、40名の学生が教育実習を開始しました。幼児と同じ目線で話し、理解しようとする実習にのぞみ、ちいさな子どもたちが楽しく遊ぶサポートをしました。教育学科の教授でもある小林園長の指導する学生6名が、幼稚園を紹介する手作りのパネルシアターを行ない、教室で学んだ知識を実践できる貴重な機会にもなりました。



にこにこクラブ: パネルシアターで子どもたちを歓迎



教育実習: 子どもたちと手作りのペープサートで遊ぶ